

## この公園はね…

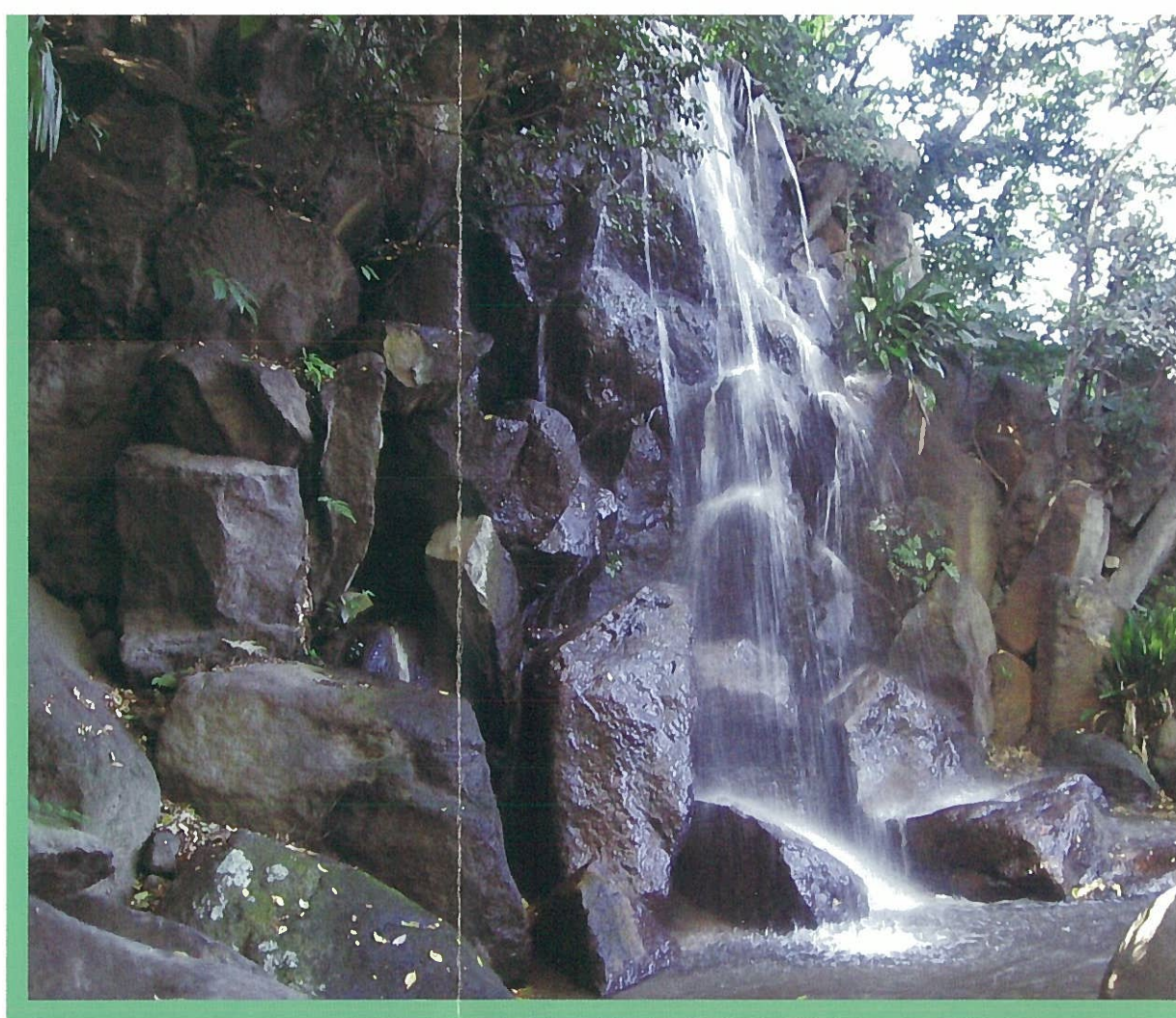
そもそも江戸時代の嘉永年間(1848~1854)王子村の名主である畑野家が自宅に開いたのが始まりで、「名主の滝」の名前の由来もここから来ました。近世末期になると、庶民にも開放されるようになり将軍が鷹狩のついでに立ち寄って休息するなど、次第にその名が広く知れ渡るようになりました。江戸百景の庭園として整備されたのは、明治の中頃、垣内徳三郎という人の所有になってからで、この人の好みにより、栃木県の塩原の風景や箱根の風景を取り入れるなどの大改造がなされました。深山幽谷の趣を出すために数多くのヤマモミジを植えたり、滝の水をポンプで汲み上げ水量を豊富にしたり、池に舟を浮かべたり、いくつもの亭を設けたりと、それはもう及ぶかぎりの贅を尽くしたようです。昭和13年に株式会社精養軒の所有になってからも、大浴場や食堂、プールなどが次々につくられ公開され続けてきました。

しかし、昭和20年の戦災のためすべてが焼失し、ようやく再公開されるようになったのは、昭和35年になってからです。やがて、昭和50年4月1日北区立の公園になりました。



## ところで…

かつて王子七滝というのがありました。それは、不動の滝・弁天の滝・権現の滝・稲荷の滝・大工の滝・見晴らしの滝・名主の滝の7つです。そしてこの「名主の滝」だけが、唯一現存する滝として残っているのです。この公園の特色は、斜面にケヤキ・エノキ・シイ、そして100本余りのヤマモミジを植えるなど、台地から低地に至る斜面を巧みに利用して自然の風景を取り入れた回遊式庭園で、明治時代の造園方法を残していることがあげられます。また、何といても都内でも数少ない8mの落差を有する男滝を代表とする女滝・独鈷の滝・湧玉の滝の4つの滝は壮大です。



# なぬし たき 名主の滝公園



東京都北区

やくいもん 薬医門

正門



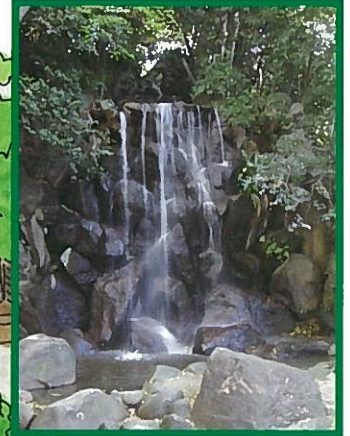
どくろ たく  
独鈷の滝



つぎょく たく  
湧玉の滝



め たく  
女滝



お たく  
男滝



ちゃ しょ  
茶室

●ご利用メモ●

所在地：北区岸町1-15-25 (7月15日～9月15日の間は午後6時まで)

開園時間：午前9時～午後5時 (入園は閉園時間の30分前まで)

休園日：12月29日～翌1月4日

駐車場：なし

茶室・集会室の申込先および連絡先：北区役所道路公園課 03(3908)9275



この名主の滝公園は、豊富なまでの樹々におおわれた都会の中のオアシスです。柔らかくこぼれてくる木洩れ日に目を細めて、その穏やかな気分に入る時、緑のある喜びを感じます。シーンと耳を澄ましてみてください。鳥たちのさえずりが途切れることなく聞こえてきます。“ここだけは安心できるんだ”とでも言いたげに、大きな声をだして鳴いています。盛夏の頃になると、滝付近で水遊びをする子供たちや涼を求める人たちが集まってきて、さっきまでのむし暑さを忘れていきます。秋にはカサコソと枯れ葉を踏む音も味わえます。こんなもったいないぐらいに豊富な自然の風情を、思いっきりぜいたくに楽しんでみてはいかがでしょうか？